

1. 所長による分析（業務運営の総括）

(1) 今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

1 求人充足に向けた求人担当者制の取組
 求人・事業所担当者制を行っている。職業相談部門と事業所・専門援助部門の担当者各3名をペアとしている。流れとしては(1)事業所・専門援助部門の担当者が求人を選ぶ(2)職業相談部門の担当者と事業所・専門援助部門の担当者がミーティングを行う(3)事業所・専門援助部門の担当者がマッチングを行う(4)マッチングの結果を職業相談部門の担当者へ伝え情報提供してもらう、となっており、ミーティングでは求人の条件緩和や、ほかに有効な求人者への支援について話し合い、前回までの担当者制対象求人を情報提供した結果についても話し合っただけでさらなる求人のブラッシュアップを行い、必要に応じて事業所訪問や求人企業説明会を開催するなどして取り組んだ結果、充足件数については、目標には達しなかったものの前年度以上の実績となった。

(2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

1 求人企業説明会の開催
 雇用保険受給資格決定後の初回講習会に併せて事業所概要や求人について説明をしてもらう「ミニ求人企業説明会」を開催している。令和5年度より求職者アンケートを見直している。具体的には、参加事業所へのフィードバックやどういった説明方法がよいのかの参考とするために説明が分かりやすかったかどうかとその回答の理由を質問に加え、聞いてみたい企業や職種についても質問に加えた。このことにより、どのような説明をしたらよいかとの事業所からの問い合わせへの対応に活用している。また、少しでも求職者ニーズを踏まえた事業所選定を行う上での参考となった。

2 オンライン機能を活用したサービスの向上
 オンライン職業相談については、ホームページに特設ページを作成して周知を行った結果、令和5年度は相談実績があった。オンライン紹介については、在職中や訓練中で来所が困難な求職者を中心に周知を行い、利用を推進した。また、求人者に対しては、リーフレット等を活用して、マイページのサービス内容を周知したことで画像情報の登録等の利用が進んだ。

(3) その他の業務運営についての分析等

1 部門間の連携強化と業務改善の取組
 当所では、週1回職業相談部門と事業所・専門援助部門が連携し、週1回ミニ業務検討会議を実施している。内容としては、所内求人揭示の見直し、事業所見学会やミニ求人企業説明会の事業所選定に関すること、マイページの利用促進に関することなど多岐にわたる業務課題や部門間連携について話し合っただけで業務改善を検討している。実際にこの検討会議で業務改善が行われており、自分たちの意見が業務に反映されることでモチベーションアップにもつながっている。

2 求職者ニーズを踏まえた事業所訪問の実施
 事業所訪問をする前に参加希望者を募るのと併せて、よりよいマッチングとするために訪問の際に事業所に聞いてほしいこと、見てほしいこと等を提案してもらい、訪問後にフィードバックすることとしている。これにより、より求職者のニーズに合った事業所情報を提供することができるようにしている。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

1 高齢求職者の就職促進
 当所に限った話ではないが、60歳以上の高齢求職者の割合が増えている。高齢求職者については、応募できる求人が限られており、パートを希望する者が多く、就職意欲が高い傾向がある。また、情報収集はインターネットを利用するのではなく、紙媒体により行う者が若年者より多い。こういった高齢求職者が応募できる求人確保し、利用しやすいサービスを提供することは企業の人手不足対策にも資すると考えられることから、来年度において取り組む必要がある。

2 職業訓練受講の推進
 雇用保険受給者への初回講習会での訓練に関する説明、窓口での受講勧奨や訓練コースのリーフレットの揭示は行っているものの、訓練校による訓練コース説明を直接聞く機会がないため、来年度においては訓練校による訓練コースの説明がある訓練セミナーを実施する。これにより、訓練の受講を推進する。

2. 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハロー ワークの 職業紹介 により、 正社員正 社員に結 びついた 就職氷河 期世代の 不安定就 労者・無 業者の件	既卒者支 援に係る 就職支援 ナビゲー ターの支 援による 新規卒業 予定者等 (既卒者 含む)の 正社員就						
令和5年度目標	1,462	1,548	437	90.0%	90.0%	150	149						
令和5年度実績	1,455	1,409	398	94.3%	94.3%	158	157						
目標達成率	99%	91%	91%			105%	105%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率
 ※ 就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。